

皆さんこんにちは。浜松商業高校 日向です。県陸協会報の依頼を受けて、恐縮ながら、初めて執筆させていただきます。



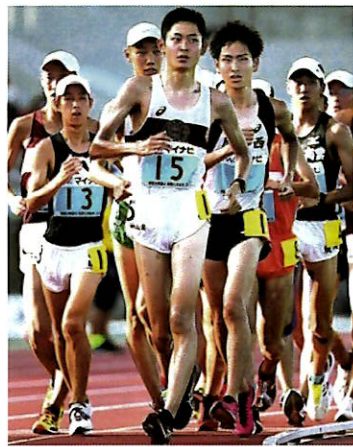
理を以って、利を得る 浜松商業陸上競技部

から、全国高校総体沖縄大会におきまして、三年三名・二年三名・一年一名(男子四名・女子三名 計七名)送り込むことができました。男子五〇〇〇Wの深

「怒涛さか巻く」五年
五年前、年度末に突然の転勤命令、自宅から六分の職場が、一気に高速通勤の一時半の通勤となり、しかも浜松商業高校の指導ということに、当時言いようもない戸惑いとプレッシャーだったことを忘れません。それは今も全く同じなのですが、浜商後援会や父母会のご協力・ご支援を賜り、何とか「怒涛さか巻く」五年が過ぎようとしています。

浜商が目指す総合力とは？

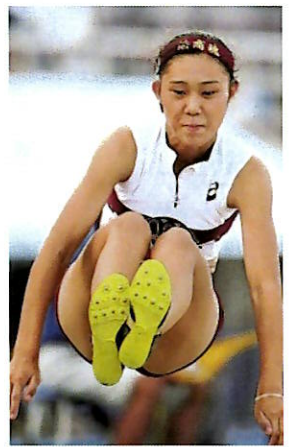
二〇一九(令和元年)年度は、総勢九〇名の部員と指導スタッフが一丸となって、総合力を強化する意味で、先ずは浜商にとって久々の「県大会男女総合優勝」に取り組みました。そのコンセプトの中



18日本選手権には、三年二名二年一名・U

全国高校最高タイム!

谷・女子走幅跳の松尾がダブル四位入賞。深谷は優勝を狙って集団を引っ張るレースでの四位。松尾は一年生ながら、入学以来ベスト記録を五〇cm以上更新する四位入賞でした。これは部員達によるベンチサイドワーク妙であったと感じています。選手と主務(マネージャー)の連携の力。学校での部活動の雰囲気そのまま沖繩に持ち込めた感がありました。また国体には、男子五〇〇〇Wの深谷・男子棒高跳の鈴木・女子走幅跳の松尾の三名を浜商から選出して頂き、深谷「三位」・鈴木「八位」・松尾「優勝」と、三名揃って入賞させて頂きました。県陸協強化部の関わって頂いたコーチの先生方には、心から感謝申し上げる次第です。



「理から利へ」
部員相互のコミュニケーション状態も、この五年間で一番良く、部員間でのライバル関係の緊張感の中に、上下・男女・種目を超えたアドバイスし合う人間関係を、更にアップし続けること。理を以って、利を得る「理から利へ」を部の信条として、二〇二〇年も「静岡」の起爆剤となるよう、躍進し続けたいと思います。宜しくお願い申し上げます。

「県総合優勝」から「都大路」へ
チームの上位陣の活躍は、当然三年生が抜けた後の新人戦にも大きな勢いを与えてくれました。一つの目標であった、浜商にとって久々の「県大会男女総合優勝」をもたらし、東海新人大会での活躍に結びつけてくれました。令和二年度、静岡県地元開催の全国総体に向けて、弾みとなるシーズンの締めくくりが、できました。そして浜商としては、令和二年度、四年前に続く「全国高校駅伝大会」へのチャレンジも大きな目標の一つでもあります。私学隆盛の中、再び「都大路」への公立高校のチャレンジのあり方を模索したいと考えます。

一年二名(男子一名・女子四名 計五名)が出場し、一年生の松尾が全国総体・国体と続く三つ目の入賞であるU18女子走幅跳「三位」入賞を果たしました。また、国土館大での競歩記録会では、三年深谷が二〇一九年度全国高校最高タイムをたたき出し、県高校・東海高校記録にあと一秒と迫るパフォーマンスも示してくれました。(五〇〇〇mW二〇分〇三秒二六・二〇一九年度日本高校ランキング一位)

静岡 陸協 会報

第 27 号 (2020年 2月25日 発行)
一般財団法人
静岡陸上競技協会
〒420-0836
静岡市葵区東町15
TEL・FAX 054-253-9801



静岡陸上競技協会理事長
新谷 誠規

令和元年度の諸事業も無事終了しました。これも会員の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

さて本年度の茨木国体では、天皇杯百一点(四位)、皇后杯は六十七点(三位)と昨年の八位から飛躍しました。成年に課題は残したものの、少年A Bの活躍が得点を押し上げてくれました。

都道府県対抗駅伝は、男子がみごとチームワークを発揮し、県代表最高記録で三年ぶり五位入賞を果たしました。女子は、前半上位に食らいつく見せ場を作りましたが、徐々に順位を下げ十六位という結果でした。高校生区間の強化が必須です。中学生トップランナーの県外流出も絡み、抜本的な対策を講じなければなりません。

各種全国大会では、多くの選手の活躍がありました。中でも吉田中学の四×一〇〇mリレー四二秒二五の日本中学新記録でした。小中高と指導者が変わる中でも、選手個々の情報を受け渡し、一貫して選手の成長を図れるような静岡型システムの構築が望まれます。

今年はいよいよオリンピック年です。内定している競歩の川野将虎選手は数少ないメダル候補と期待される選手です。静岡陸協あげて応援するとともに、出場可能性のある選手については、ポイント

ランキング制対象上位大会となる静岡国体で、より多くのポイントを獲得できるように大会運営に最大限のご協力をお願いします。

最後に、紆余曲折はありましたが、静岡インターハイが八月一二日から開催されます。監督・コーチ・選手約四千六百人、観客約八万五千人が全国からエコーパに集います。参加者全員が良い思い出として記憶に残る大会にしましょう。(今年度の顕彰関係)

日本陸上競技連盟表彰

秩父宮章 大原一夫氏

高校優秀指導者章 菅間友一氏

中学優秀指導者章 本田守啓氏

静岡新聞社・静岡放送スポーツ賞

優秀選手賞 川野将虎(東洋大)

中津川亜月(浜松市立)

秋山愛莉(城南静岡)

松尾瑚捺(浜松商)

内山響香(浜松市立)

杉森心音(浜松北浜中)

吉田中男子四百mリレー

斉藤涼馬・田村莉樹

内屋翔太・大石凌功



静岡県三地区報告

東部陸上競技協会

東部陸上競技協会理事長 神山 心一

東部陸上競技協会の活動や東部地区出身の選手の活躍の報告をします。

協会としては約四〇〇名余の審判員を登録でき東部陸協主催事業に協力を戴きました。

春季記録会・東部選手権・東部カーニバルが主たる競技会で、社会人・大学生から小学生まで一堂に介して行われる大会は強化・普及に多大なる影響を与えています。今後も、東部で育った選手が東部に帰ってくるような魅力ある大会にしたいと考えます。

十一月の第二〇回記念市町駅伝競走大会では、御殿場市が二連覇、清水町が初優勝し、東部地区が大変盛り上がりました。また、十二月の暮れに行われました富士山女子駅伝では東部の地域陸協の審判員の御協力が無事終了する事が出来ました。心より御礼申し上げます。

選手の活躍では、まず川野君(御殿場南高↓東洋大)の活躍です。先の全日本50km競歩で勝ち、本年開催される東京オリンピックに内定した事です。東部陸協の誇りであり日本の誇りでもあります。全日本中学陸上で松田君(裾野東)三〇〇〇m五位、武田さん(三島南)八〇〇m三位、小早川さん(伊豆修善寺)一〇〇m日七位、伊東南(中井・

磯川・大川・藤井)四〇〇m R三位と活躍しました。高校はU一八日本選手権大会で君島君(日大三島)走幅六位、佐藤さん(沼津東)二〇〇m七位、土岐さん(日大三島)八〇〇m六位が活躍、大学生は日本ICで石田君(熱海↓国際武道大)

一〇m H二位、竹川君(富士宮北↓法政大)棒高七位、渡邊君(日大三島↓日大)一六〇〇m R四位、小針さん(富士市立↓駿河台大)四〇〇m R八位、立見さん(日大三島↓中京大)一〇〇〇〇W六位と活躍しました。秋の国体では、葛西君(沼津西)が少年A走幅二位となりました。少年団↓中学↓高校と指導の一貫性を覗わせる活躍でした。一〇月末の東海新人は令和二年度に開催される静岡インターハイの切符を占う大会となりました。一昨年に県陸協で、中学生三年生に「スーパージュニアアスリート」と銘打って認定証の交付を行い、練習機会の確保や将来に向けての意識づけを高めるために認定証授与式を毎回行いました。

その結果が今年の東海新人陸上で結果が見えてきました。東部地区の高校生は万遍なく入賞した。特に、小林さん(沼津東)女子一〇〇m一位は値千金の活躍でした。平成から令和に年号が変わり新たな風が吹いてきます。

いよいよ令和二年度は二回目のインターハイがエコーパで開催されます。我々東



全日本 50km 競歩 高島

部陸協の審判員として大会に関わり、審判員の技術向上を目指して切磋琢磨して臨みたいと思います。一年間本当にありがとうございます。



静岡県中部陸上競技協会

中部陸上競技協会理事長 **岩本 稯児**

二〇一九年度、静岡県中部陸上競技協会の活動内容をお知らせします。年度初め総会に於ける目標や抱負はA・競技力のレベルアップを図る。B・競技の普及に力を注ぐ。C・協会運営の組織力を高める。等でした。

Aでは、指導者育成に対して理事の方々から具体的な助言をいただきました。加えて活動の裏付けとなる活動費を組んでいた事、これまでにない試みでした。育成の結果が出るには一定の時間が必要ですが、春から夏、夏から秋、秋から駅伝へと入賞者数や代表獲得など目に見えて向上してきています。

Bの普及への取り組みとして新しく中学生の記録会を新設しました。この取り組みに触発されて来年度にはU17大会の設立も計画されています。この大会で特に注目すべき事は、中学三年生の陸上部

以外の生徒への普及を取り入れたことです。

Cとして、これまでの委員会制度を充実させ、具体的な活動に取り組んでもらった点です。来年以降、クラブチームや中体連、高体連が更に密接な関係を築いてくれることを期待しています。

選手の活躍について触れますと、インターハイの優勝者秋山さん、全国定時制の優勝者足立君、全国中学大会に中学日本新記録で優勝した吉田中四〇〇m Rメジャーを筆頭に数多くの選手が東海大会・全国大会で活躍しています。

この原稿を書きながらクイーンズ駅伝を見ていましたら、資生堂の木村さん、豊田自動織機の萩原さん、ヤマダ電機の清水さんの

中部出身競技者が揃って一区の画像に映っていました。小中高の強化が社会人まで伸びしろのある指導体制も大切だと思



本年度の活動を振り返って

西部陸上競技協会理事長 **松井 清和**

本年度の西部陸上競技協会の大会は全て終了することができました。これも会員の皆様の御協力の賜と感謝申し上げます。

本年度は、四月にドーハでアジア選手権が開催され、西部地区より男子は、スズキ浜松ACからやり投に新井凌平選手、十種競技に中村明彦選手、女子は、スズキ浜松ACからやり投に斉藤真理菜選手、七種競技に山崎有紀選手が出場し活躍されました。また、九月のドーハで開催された世界選手権には競歩に東洋大(浜松日体高卒)の池田向希選手が会場し活躍されました。

茨城国体では、少年女子A走幅跳・少年女子共通三段跳で中津川亜月選手(浜松市立高)、少年女子B一〇〇mで内山響香選手(浜松市立高)、少年女子B走幅跳で松尾瑚捺選手(浜松商業高)が優勝するなど、多くの選手の活躍で、天皇杯四位、皇后杯三位という素晴らしい結果でした。

また、日本選手権男子やり投で新井凌平選手(スズキ浜松AC)、混成競技女子七種競技で山崎有紀選手(スズキ浜松AC)、全日本中学校選手権女子一五〇〇mで杉森心音選手(浜松北浜中)が優勝されました。これらの結果は、各指導者と選手の弛まない努力の成果だと心から敬意を表します。

さていよいよ七月二四日から東京オリンピック、八月二五日から東京パラリンピックが開催されます。本県関係の選手

が多く出場し活躍してくれることを願っています。

さらに八月一二日から一六日までエコパスタジアムで全国高校総体陸上競技大会が開催されます。この大会で活躍が期待できる特別強化指定選手と強化指定選手を選出し、現在強化合宿や強化練習会により競技力の向上を図っております。本大会には開催県代表枠として全種目に一枠が与えられることになっており本県選手の活躍が大いに期待されます。

次年度は、このように記念すべき大きな大会が開催されます。会員の皆様には、これまで以上の御支援と御協力をお願いいたします。



吉田中 全国中学校体育大会 陸上男子四〇〇リレー 四二秒二五 中学新記録!

大阪市のヤンマースタジアム長居で行われた、全日本中学校陸上競技選手権大会の男子四〇〇メートルリレー決勝で、吉田町立吉田中陸上競技部が四二秒二五のタイムで優勝した。二位に〇秒二八の差をつける中学新記録での快挙。

メンバーは、三年の斉藤涼馬君、田村莉樹君、内屋翔太君、大石凌功君。四人は地元のクラブで小学六年からリレーチームを組み、切磋琢磨してきた。



第二〇回しずおか市町 対抗駅伝競争大会

十一月三〇日、県内の全三五市町三八チームが参加し、第二〇回しずおか市町対抗駅伝競争大会が開催されました。静岡県庁前をスタートし、葵区清水区駿河区を走り抜け、草薙陸上競技場まで一二区間四二・一九五キロのコースで競われました。

市の部優勝は御殿場市で、二時間九分二九秒の大会新記録、二年連続四度目の優勝。

二位が静岡市静岡、三位は浜松市西部町の部優勝は清水町、二時間一七七一三秒。

二位が吉田町、三位は函南町

人口一万人未満の市町の一位に与えられるふるさと賞は河津町

敢闘賞(前回大会より記録を伸ばした)は、下田市、御前崎市、藤枝市、伊東市、西伊豆町、川根本町。



〔編集〕
静岡陸協広報委員会・静岡陸協事務局
水谷陽介(編集・文責)
橋本美智夫(編集委員)
写真(陸協報道 太多和幸二)
(印刷・大日三協株)

